

## 写真や実験で正しく理解



▲教室のようす

健康っていいなあ！

2/22

白石小学校「防煙教室」



白石小学校の5〜6年生15人を対象に「防煙教室」が開かれ、子どもたちがタバコが健康に及ぼす影響などについて学びました。

この教室は、タバコの害や健康的な生活について子ども頃から理解を深めてもらおうと、村が村内小学校を対象に毎年実施しています。

教室では、山屋佐智子先生（福島産業保健推進センター・産業保健相談員）が講師を務め、日本人の死因の第1位はがん、そのトップは肺がんであることを紹介し、若いうちには肺が柔らかく10代からタバコを吸っている人の方が、その害を受けやすいことなどを説明しました。

また、白いスポンジをタバコ水に浸す実験では、ニコチンによってスポンジが黒く変色していく様子に、子どもたちは驚きの声をあげていました。

教室後、子どもたちは「タバコを吸っている人だけではなく、隣でその煙を吸った人も体に悪いことを知った」「タバコはまずそうだし、肺が汚れるので、大人になっても吸わないようにしたい」「禁煙を家族にも呼びかけた」「など」と話し、タバコを吸うと病気になることや、喫煙は自分だけの問題ではないことなどを強く感じていたようです。

この防煙教室は、草野小学校でも3月3日に開かれています。



## お知らせ 退職者医療受給者の方へ



平成20年4月から退職者医療制度が変わり、現在退職者医療で医療を受けている方のうち、65歳以上の方及びその扶養者は、3月末で退職者医療の資格を喪失します。

4月からは一般被保険者となり、新たに国民健康保険証が交付されます。保険証の更新については、3月に対象者へご連絡する予定ですので、役場から届く通知をご覧ください。

なお、医療費の負担割合については変更ありません。

関健康福祉課健康係

☎42-11619